

青大 ほけんだより

2024年7月 (第4号)



7月の青大は蜂に注意！

昨年の7月末、大学敷地内で同時刻に複数名が蜂に刺されました。

蜂の被害は、繁殖期の7～10月に集中しますが、特に攻撃性が高まるのは7～8月です。蜂に刺されないための予防法、そして、万が一刺された時の救急処置についてお知らせします。

まずは蜂の習性を知ろう ～活動時間は日の出から日没まで～

蜂の活動時間は非常に長く「日の出から日没まで」と言われています。つまり、私たち人間が外で照明をつけずに物が見える時間帯（明るいうち）は、すべて活動していることになります。特に、日中の時間帯が長い7～8月は、私たち人間と蜂が接触する危険性が高くなります。一方、暗くなると蜂は目が利かなくなるため、夕方には巣に戻る習性があります。

蜂に刺されないために ～姿勢を低くして、ゆっくりとその場から離れましょう～

基本的に、自分自身や、大切な巣に被害がなければ襲ってきません。

しかし、大声を出したり手を振り回したりすると、身の危険を感じ、巣を守ろうと一斉に攻撃を開始します。蜂に遭遇した時は、「姿勢を低くして、ゆっくりとその場から離れること」。そうすれば被害は最小限にとどまります。あわてて大声を出したり、手を振り回したり、急に走ったりするのは逆効果です。また、長袖や帽子などで、肌の露出を少なくすることも有効です。

青大 蜂注意マップ

～正徳館とテニスコート周辺に注意！～

昨年7月に発生したのは、テニスコート周辺でした。また、正徳館には毎年のように蜂が巣を作るとのことです。蜂の巣を見つけたらただちに対応しますので

青大事務局

(1号館)

までご連絡ください。



添付「蜂に刺された時の救急処置について」も併せてご覧ください(令和5年7月作成)

青森大学校舎配置図

